

「安全管理の取組状況の自己チェックシート」

以下は、運輸安全マネジメント（輸送の安全を確保する取組み）について従来から国土交通省へ報告した内容をホームページ上へ転載することで弊社の安全への取組状況を広く開示し、透明性を示すものであります。

「自己判定」欄には、弊社の取組状況を「自己チェックポイント」に照らして、

実施している場合は「○」

一部実施している場合は「△」

実施に至らない場合は「×」を記入しております。

なお、平成27年度の報告内容です。また、弊社は日本バス協会の行う安全性評価認定制度内でも同様の審査に合格しておりますが、改善は常時進めておりますのでご了承下さいませ。

自己チェックシート (1 / 5)

	自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等
1 安全管理の考えと計画	1. 代表者(経営者)の安全に関する考え方		【考え方を記載してください】 安全及び法令遵守は公共交通の最大の使命である 子供が出来るのになぜか大人が出来ない報告・連絡・相談の徹底 当たり前の事を当たり前に出来れば安全は約束される
	2. 安全最優先の原則等を盛り込んだ「安全方針(社是、企業理念、教え等の場合有り。)」を策定しているか。 また、社内に周知(会議、点呼、掲示等)しているか。	○	1. 安全方針 ①安全最優先意識の向上と組織の構築 ②安全マネジメント体制の確立と継続的改善 ③安全を支える従業員の能力向上と健康の確保 ④お客様の安全を第一に考えたサービスの提供 ⑤基本方針に基づく施設の確実な実施と法令遵守 ⑥管理者と乗務員との相互コミュニケーション強化 2. 周知方法 会議・社内掲示の他、HPにて公開
	3. 安全を確保するための具体的な目標を定め、その目標を達成するための取組計画を作成しているか。	○	1. 具体的な目標 ①有責事故件数前年比 50%減 ②駐車場内での事故撲滅 ③車内事故 0 件 ④ヒヤリハット情報収集の共有化とその活用 ⑤法令速度遵守と余裕を持った車間距離の確保 2. 取組計画 社内規定により 1 事故に対し一定のペナルティを課す

4.	安全を確保するために必要な人員の採用、配置及び設備（車両等）の更新・整備などを行っているか。	○	1. 人員 正社員の労働日数超過防止の為、臨時社員の定期的採用及び使用 2. 設備 営業部と連携した人員配置計画を基に随時募集及び新型車導入	
5.	安全統括管理者は、安全確保に向けて積極的に取り組んでいるか。	○	1. 取組内容 経営者自らが安全統括管理者となり、毎日欠かさず現場巡回視察	

自己チェックシート（2 / 5）

	自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	
2 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1. 代表者（経営者）は、社員（運転者等）と安全について話す機会を設けているか。	○	1. 機会の概要 毎月の定例会議の他、目安箱を設置し、随時収集に努める	
	2. 代表者（経営者）は、社員（運転者等）の安全に関する意見・要望を聴いて対応しているか。	○	1. 対応の事例 早目のタイヤ交換・クラッチ調整・曇り止め電熱線導入など	
	3. 安全に関して各部署を交えた横断的な話し合いを行っているか。	△	1. 話し合いの仕方 毎週の営業部・総務部ミーティングにて	
	4. 利用者に対する安全啓発（車内アナウンス・掲示等）を行っているか。	○	1. 安全啓発の内容 シートベルト着用啓発 DVD 使用及び乗車時社内アナウンス	
	5. 上記 1.～4.について、見直し改善を行っているか。	○	1. 見直し改善の具体的事例 1.2.運転者代表及び整備管理者も交えて経営者へ意見を伝える機会を増加 3.整備部門・運転者代表の参加も検討中 4.乗車時以外での安全啓発の励行	

自己チェックシート (3 / 5)

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	
3 事故等情報の収集・活用	1.	事故発生時の対応手順や連絡方法等を決めているか。	<input type="radio"/>	1. 取り決めの概要 手順・連絡方法だけでなく非常召集体制も備え、運行管理関係者以外でもわかるよう社内掲示	
	2.	事故、トラブルが発生した場合、再発防止対策を講じているか。	<input type="radio"/>	1. 再発防止対策の事例 当月内の事例は翌月の定例会議にて実際の事故トラブル報告書をもとに皆で反省し再発防止策を検討する 同様の事故トラブル再発防止の為、運行指示書に前回の注意点を記載し共有	
	3.	ヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用しているか。	<input type="radio"/>	1. 収集方法 専用用紙を備え付けてはいるが、自発的には目安箱等では上がりにくい為、会議時に強制収集 2. 活用事例 会議にて匿名開示し、皆の反省を促し防止策の共有を図る	
	4.	利用者の声、他社の事事故事例などの情報を集め、必要に応じて対応等を行っているか。	<input type="radio"/>	1. 情報の対応事例 利用者の声を重視し、苦情等を会議にて開示し反省と再発防止を図る	

自己チェックシート（4 / 5）

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	
4 安全管理体制における取組み	1.	関係法令等の遵守状況の定期的な確認を行い、また、安全運行に必要な情報を収集し、社員へ周知を行っているか。	○	1. 遵守状況の定期的な確認の方法 運行毎にタコグラフをチェックし、必要に応じて違反歴照会も行う 2. 収集及び周知の方法 道路工事予定が事前に分かる場合は社内掲示	
	2.	代表者（経営者）、安全統括管理者等に対する運輸安全マネジメントに関する教育（外部研修等の受講を含む）を行っているか。	△	1. 教育の事例 国土交通省認定セミナーへの参加	
	3.	運転者等の技能要員に対して、必要な教育・訓練を定期的に行っているか。	△	1. 教育訓練の概要 民間主催の運転技能講習等への参加 狭路や台数口依頼の場合は担当営業員が現地にて交通整理に当たる	
	4.	教育・訓練の実施状況を踏まえた見直し改善を実施しているか。	○	1. 見直し改善の事例 事故多発地への配車時は事前に実績のある運転者が同行し現地指導 運転者による相互訓練により安全意識が高まり、軽微な接触事故が減少	

自己チェックシート (5 / 5)

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等
5 見直しと改善	1.	安全に関する目標の達成状況や安全管理の取組状況を年1回以上定期的に振り返る機会はあるか。	○	1. 実施の時期 平成27年4月1日～平成28年3月31日 2. 目標の達成状況 ① 達成②未達成③達成④達成⑤達成 3. 振り返りの状況 当年9月・翌年5月の年2回
	2.	安全に関する目標の達成状況や安全管理の取組状況を年1回以上確認（総括）して、次の目標や取組計画に反映しているか。	○	1. 反映した事例 管理側からの一方通行教育だけでなく運転者自身の安全意識を高める為、運転者全員で順に運行管理補助業務を行う事で相乗効果を生み出す
	3.	安全に関する日々の取組みに問題があった場合、改善や対策等を講じているか。	○	1. 改善・対策の事例 運転者が遠慮なく意見を出せるよう、運行管理者が経営者とのバイパス役を担い、経営者への意見を収集し易い環境を構築 運転者でしか気付かない車両の細かな不調も、非常にコストのかかる故障に至る前に対処できる